

# 【週刊タバコの正体】

Vol.34 第8話～第11話

2016/06 和歌山工業高校 奥田恭久

## ■Vol. 34

### (No. 469) 第8話 ある日突然

「タバコを吸い続けると」ある日突然”心筋梗塞を発症...

皆さん「心筋梗塞」という言葉を知っていますか。「しんきんこうそく」と読むのですが、心臓のまわりの動脈血管が詰まって血液が流れなくなる病気の名前です。

血液が流れなくなった心臓の筋肉（心筋）は壊死えしし動かなくなります。つまり心臓が止まる病気ですから、生命に関わる緊急事態です。一刻も早い処置が必要とされるのですが、ある日突然発症するケースがほとんどなので、対応が遅れ死亡にいたる場合もあります。

### (No. 470) 第9話 禁煙治療

「禁煙治療における35歳未満の保険適応制限がなくなりました...

「タバコは20歳になってから」というフレーズは知っていますよね。未成年者喫煙禁止法という法律によって満20歳未満の喫煙は禁止されているからです。しかし、未成年者でもニコチン依存症になってしまっている人は少なくありません。皆さんのまわりの友人や先輩後輩にもいるかも知れません。

そんな人達は、好奇心や興味から何かのきっかけで、タバコに手を出してしまったのでしょう。その時、現在の君たちのようにタバコに関する正しい知識を持っていれば、吸い始めていなかったかも知れないと思うと残念で仕方がありません。と言うのも、高校生がニコチン依存になってしまうと大きなハンディを背負うことになるからです。

### (No. 471) 第10話 見て見ぬふり

「子どもの喫煙に対する「見て見ぬふり」を減らす...

満20歳未満の喫煙を禁止している『未成年者喫煙禁止法』は、1900年（明治33年）に制定されて

います。成長過程にある青少年が有害なタバコを吸うのは明らかに良くありませんが、それを法律で100年以上も前に規制していた国は多くありません。にもかかわらず、現実にはニコチン依存症になってしまう子どもは数多く存在し、現在もなくなっていません。

残念ながら、本校でも喫煙が発覚して指導される生徒は存在します。1200名のうちニコチン依存症の生徒が何人いるのかわかりませんが、その生徒はニコチン切れに耐えられずどこかでタバコを吸っているのです。

### (No. 472) 第11話 タバコの死者

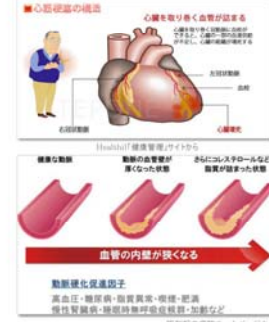
「タバコが原因の死者は、交通事故よりはるかに多い...

喫煙を続けると、ガンなどの病気になり死亡する確率が高くなる事は知っていますよね。タバコを吸い始めていなければ健康でいられたのに、たまたま何かのきっかけで吸い始めニコチン依存症になってしまった人たちの多くは、それが原因で命を落としてしまいます。では、いったいどのくらいの人々が亡くなっているのでしょうか。

左図にあるように9年前（2007年）には、12万人が、タバコが原因で亡くなっています。日本の人口1億2千万人のうちの12万人...

Serial number 469 第8話  
週刊 タバコの正体

皆さん「心筋梗塞」という言葉を知っていますか。「しんきんこうそく」と読むのですが、心臓のまわりの動脈血管が詰まって血液が流れなくなる病気の名前です。



血液が流れなくなった心臓の筋肉（心筋）は壊死し動かなくなります。つまり心臓が止まる病気ですから、生命に関わる緊急事態です。一刻も早い処置が必要とされるのですが、ある日突然発症するケースがほとんどなので、対応が遅れ死亡にいたる場合もあります。

もうひとつ、「動脈硬化」（どうみゃくこうそく）という言葉も紹介します。左の図のように動脈の血管にコレステロールなどが詰まったりして内径が狭くなる病気の名前です。

じつは「心筋梗塞」と「動脈硬化」は非常に関連性があり、動脈硬化が進行すると血管が詰まる確率が高くなります。すると、当然心臓の血管も詰まる確率が高くなるわけです。

「動脈硬化」が進行する原因には、高血圧や糖尿病などがあげられますが、なんと喫煙も影響することが分かっています。タバコは血管にダメージを与えるのは医学的には常識なのですが、一般にはあまり知られていません。

一旦、タバコを吸い始めてニコチン依存症になってしまうと、ニコチンを補給するために有害な煙を吸い続ける日々を送ります。外見上は何も異常がない毎日でも、気付かないうちに血管が痛んでいるわけです。.....そして、何十年か後のある日突然、血管が詰まり、激痛とともに命に関わる緊急事態に陥るかもしれません。

そんな事態になる可能性を知りながら、あえてタバコに手を打つ必要はありません。



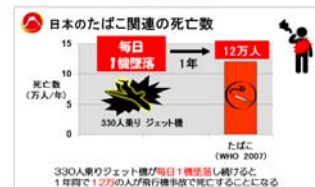
産業デザイン科 奥田 恭久

Serial number 472 第11話  
週刊 タバコの正体

喫煙を続けると、ガンなどの病気になり死亡する確率が高くなる事は知っていますよね。タバコを吸い始めていなければ健康でいられたのに、たまたま何かのきっかけで吸い始めニコチン依存症になってしまった人たちの多くは、それが原因で命を落としてしまいます。では、いったいどのくらいの人々が亡くなっているのでしょうか。



左図にあるように9年前（2007年）には、12万人が、タバコが原因で亡くなっています。日本の人口1億2千万人のうちの12万人なので、0.1%がタバコのせいで亡くなっている計算になります。



目をみればわかるとおり、実はタバコが原因で亡くなる人の数は、交通事故で亡くなる人の15倍以上もあるのです。

もし、搭乗者が墜落するような事故が発生すれば大惨事となります。しかし、タバコを吸い続けた事によって、そんな大惨事と同じ死者が毎日発生している事に誰も気付いていないかのように、交通事故や飛行機事故をなくす努力をするのは当たり前の事ですが、同じようにタバコによる死亡者をなくす努力も必要だと感じませんか。



産業デザイン科 奥田 恭久

毎週火曜日発行



URL: [http://www.jascs.jp/truth\\_of\\_tobacco/truth\\_of\\_tobacco\\_index.html](http://www.jascs.jp/truth_of_tobacco/truth_of_tobacco_index.html)

※週刊タバコの正体は日本禁煙学会のHPでご覧下さい。  
※一話ごとにpdfファイルで閲覧・ダウンロードが可能です。  
※HPへのアクセスには右のQRコードが利用できます。

